



# 鴨沂高校同窓会報 第13号

発行：京都府立鴨沂高等学校同窓会 〒602-0856 京都市上京区荒神口通り寺町東入ル荒神町 105 鴨沂会館内  
TEL(留守電)& FAX 075-212-4445 mail: ohkidoso@yahoo.co.jp http://ohkidoso.org/



## 総会及び京都府立第一高女・鴨沂高校創立150周年記念に向けて

京都府立鴨沂高等学校同窓会会長 芋阪直行

同窓会の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

2019年10月の総会での会長就任以来早くも2年半の歳月が経過しました。この間、前会長の川井秀一先生のもと、懸案であった新校舎落成記念式典(2018年秋)に引き続き、2019年秋には教育振興基金事業の募金で修復されたスタインウェイのピアノ演奏会なども楽しいイベントでした。皆様の温かいご支援と募金活動へのご協力に心より御礼申し上げます。竣工の4年後の2022年秋には鴨沂高校も新英学校・女紅場創設以来150周年を控え、さらなる記念事業への取組をはじめました。折しも、新型コロナの流行に阻まれ理事会の活動にも制約がかかる事態となりました。このような

事情で、150周年記念事業の趣意書の送付、発起人のお願い、募金へのご協力なども大幅に遅れ、また行き届かないことも多々ありましたことをお詫び申し上げます。現在、記念事業自体は、150周年記念事業実行委員会において運営実施されています。150周年記念式典は、令和4年11月15日(火)午後2時からロームシアター京都にて、祝賀会は、同日6時半からウエスティン都ホテル京都にて開催を予定されております。教職員、PTA、同窓会会員の皆様はもとより、発起人(代表及び各期の方々)、同窓会理事、村上敦氏をはじめとする実行委員会の方々の記念事業へのご協力には心より御礼申し上げます。

### 2022(令和4)年度

## 京都府立鴨沂高等学校同窓会 第10回総会開催

日 時：2022(令和4)年11月26日(土) 14時～ 受付

会 場：鴨沂高校 講堂(本館4F)

京都市上京区寺町通荒神口下ル松蔭町131 (TEL 075-231-1512)

●くわしくは本誌最終ページをお読みください●



## 伝統と進取150年の時を経て、鴨沂は新たなステージへ！

京都府立鴨沂高等学校 校長 松井 佳代美

旧校舎の意匠を継承した美しい校舎にリニューアルして4年が経ちました。この間、鴨沂高校の改革が進み、令和4年度入学者選抜においては、京都府の公立高校で志願倍率が1位となり、中学生の憧れの高校となりました。同窓生の皆様が築いてこられた伝統を礎とし、「Society5.0」と呼ばれる新たな時代を担う生徒に必要な資質・能力を育成する教育をさらに進めてまいります。

### 躍進する鴨沂高校

- ①公立合格者はここ数年10名前後で推移。昨年度、私立大学は関関同立51名を含む539名が合格（延べ数）。
- ②全国トップレベルの女子水球、全国大会に自転車競技、弓道が出場、美術部が全日本年賀状大賞コンクール絵手紙部門で文部科学大臣賞を受賞するなど加入率約90%で活発な部活動。
- ③京都文化コースを中心として、京都文化を学び世界に発信できる人材を育成。
- ④コロナ禍の2年間、生徒と教職員がともに「今できることは何か」を考え、中止する学校も多い中、文化祭、体育祭、研修旅行など多くの学校行事を実施。
- ⑤コロナ禍により、姉妹校のフランス国ジュールゲート国際高校との相互訪問はできなかったものの、オンラインを活用して交流を継続。
- ⑥他の府立高校に先駆け令和3年度より一人一台学習用端末を導入。ICTを活用して、主体的・対話的で深い学びを実現。



学習用端末を活用した協働学習



京都文化コース 探究学習発表の様子



部活動で活躍する生徒たち

## 京の老舗 公益社団法人京都鴨沂会へのお誘い

公益社団法人京都鴨沂会 会長 川井 秀一 (19期)

京の老舗公益団体、京都鴨沂会をご存じでしょうか。鴨沂高校の北運の東隣り、荒神口通りに面した鴨沂会館を運営し、事務所を構えていますので、同窓生の皆さんはきっと通学の折りに一度ならずしばしば会館の前を通られ、見覚えておられることと思います。

でも、鴨沂会がどんな活動をしているのか、ご存じの同窓生は意外に少ないのではないのでしょうか。京都鴨沂会が設立されたのは明治20 (1887) 年のことです。京都府高等女学校の同窓会組織 (鴨沂会) として設立され、本年で実に135年になります。その後、明治42 (1909) 年には民法に規定される社団法人京都鴨沂会になり、さらに平成25 (2013) 年には公益社団法人京都鴨沂会となりました。京都府に「京の老舗表彰」という百年企業の表彰制度がありますが、公益団体にこの制度が適用されるならば、鴨沂会もその資格を有しているのではないのでしょうか。

このように鴨沂会は、当初は同窓会組織として起ち上がりましたので、鴨沂高校同窓会とはいわば兄弟姉妹のような関係にあります。その後、多くの先輩諸氏の努力により、時々の社会の変化に適応しながら順次公益団体としての事業を重視、拡充してきました。いまでは京都府下の公立高校生への奨学事業 (京都鴨沂会奨学生および大学進学支援金制度) を中心に、伝統文化の承継と活用、国際理解促進のための留学生の日本文化教室、生涯教育と福祉教育のための教養講座などに力を注いでいます。

設立以来の会員誌である『鴨沂会誌』は明治20年の創刊第1号から数えて本年で第159号になりました。近代国家としてのスタートを切った明治期の女子高等教育の歴史を映すものとして貴重な文献資料となっております。会誌の保存と閲覧に関わり、事故や災害等による会誌の散逸を未然に防ぐため、京都府が運営する歴彩館への会誌寄贈を可能な限り進め、また閲覧の便に供するためにPDF化に取り組んでおります。

第159号の教養講座には、建築設計事務所を主宰され、同窓会理事でもある末川協先生 (35期生) に、「京都祇園祭大船鉾・鷹山の復元設計」について、ご寄稿いただきました。平成25年に150年ぶりに巡行に復帰した後祭りの大船鉾、そして本年 (令和4年) は三年ぶ

りの祇園祭巡行に196年ぶりに復帰した鷹山の復元設計上の工夫や木組みの構造をわかりやすく解説いただきました。大変タイムリーな話題でもあり、記事は大好評でした。筆者も、祇園祭前祭りの船鉾の車方を35年間務めています。船鉾も、大船鉾を焼失した禁門の変で車輪4基を失い、明治25 (1892) 年にこれを新調して118年間にわたり使用したのですが、平成22 (2010) 年に車輪を再度新調することになり、明治25年製旧車輪を車方として関わっていたご縁で筆者の所属した京都大学生存圏研究所に寄託いただきました。その後、この旧車輪が鷹山に転用され、さらに末川先生が復元設計を担われることになったことに不思議な縁を感じています。

さて、鴨沂会公益事業の財源は、会費、寄附のほか、会館の貸室事業から得られる収益が主なものです。鴨沂会館はコーラス、オーケストラ、ピアノ、バレエ、ハワイアンフラなどの音楽舞踊のお稽古によく利用されています。そのほか、鴨沂会が主催する茶道、華道、書道、能楽、香道などの伝統芸能もあり、鴨沂会館はこのような芸術と伝統文化の活動に利用いただくことで、市民の集いの場として親しまれております。

鴨沂会の運営は、これまで実質的に府一 (京都府立第一高等女学校) と鴨沂高校の同窓生が担ってきました。「京都における人材の育成と文化・伝統の承継」という高い志を掲げていますが、会員は慢性的に減少する傾向にあり、高齢化も相まってボランティアでの運営はかならずしも盤石ではありません。鴨沂会の持続的な発展に向けて、将来は、趣旨に賛同いただける一般市民の参加も願っています。ホームページやインターネットを活用することによって、広く地域住民の皆さんにご理解いただき、鴨沂会館を活用いただきたく思います。

そして同窓生のみなさまには、京都鴨沂会の活動にご参加を賜りますと大変幸甚です。ご入会方法は、入会金500円に年会費 (正会員2,000円) を添えて京都鴨沂会事務所へお申し込みいただくことで完了いたします。機会があれば、一度ホームページ (<https://www.ohki-kai.org/>) をご覧ください。同窓生のみなさまのご協力とご支援をお待ちいたします。

# 関東支部からのご報告

京都府立鴨沂高等学校同窓会 関東支部長 生田 稔雄

同窓会関東支部長の生田稔雄（16期）です。コロナ禍の下これという活動は出来ませんでしたが、前任会長の加藤啓氏（19期）が2015年から在校生（2年生）の高校研修旅行時に同窓生と交流会（同窓生による講演）を進めており、引き続き実施いたしました。

2018年6月第4回目を開催（ルートイン五反田）

講演者 糸川光樹氏（2期＝校歌作詞者） 明治学院大学名誉教授  
尾関夢子氏（16期） 高千穂大学名誉教授

2019年6月第5回目を開催（浅草ビューホテル）

講演者 池上真平氏（16期） 元富士フイルム取締役常務執行役員  
白石哲也氏（19期＝校歌編曲者） ピアニスト・作曲家

2020年以降は東京への高校研修旅行がコロナの影響で実施されませんでした。

講演内容は講演者の社会体験、研究、技量などに裏付けされたテーマであり、在校生も食後の一時間を聞き入ってくれました。とりわけ糸川先生の講演は2017年にスクールソングが校歌として68年ぶりに認知され、在校生にとって関心の高いテーマでした。実は糸川先生は講演時、重篤なガンに侵されて余命半年とのこと、講演が可能か心配していましたが、当日お元気の姿で在校生に語り掛けられ、スクールソングを作詞した背景、エピソードや詩に対する思い、また何故校歌と認定されなかったか等、まるで青春時代に戻ったかのように生き生きと、楽しそうにお話になられ、最後に在校生から校歌の合唱があり、有意義な時が過ごせました。（糸川先生は2018年12月にご逝去されました。）さて当支部の今後の活動は、コロナ禍が収束しない中、明確な指針が立っていませんが新たな企画を模索していきたいと考えています。

## 学 年 報 告

1959（昭和34）年3月卒：11期生

谷口 全平

前回、私たちの同期会「鴨沂33会」を行なったのはもう4年前、平成30（2018）年11月14日のこと。平成元（1989）年より原則として2年おきに行なっている会なのですが、この第15回33会は、80歳の壁を目前にして元気に乗り切りたい、身体の老化はやむを得ないことだけれども、心まで老いさせてはならない。そのためにも若き日に思いを馳せながら青春の気呼び戻したい、そんな思いで開催したのです。

会場は「からすま京都ホテル」。出席者は104名。当日、遠くはシカゴから、あるいは仙台、東京、熊本から。うれしいことに、恩師の浜田香代子先生も、ご高齢で、おみ足のご不自由な中、前回に続き今回も高知からご出席。大きな存在感を示していただきました。

アトラクションはザ・ベンチャーズのサウンドに魅せられた親父バンド「京都ベンチャーズ」の演奏。[ダイヤモンドヘッド]や「京都の恋」等懐かしい曲に心はずぐに60年前に戻りました。次回、第16回33会は2020年5月16日にしようと決めたのですが、それからが大変。2020年に入ってみるみるうちにコロナウイルス感染症が蔓延。急きょ日取りを秋に変更したのですが、まだ収まらずまた開催日の再変更を余儀なくされ、今日に至っています。同期の皆さまには、平常に戻りました段階で、改めてご案内をしたいと思っています。コロナ禍で体調を崩しておられる方もあるかもしれませんが、その節にはよろしく願い申し上げます。

1965（昭和40）年3月卒：17期生

宇阪 直行

「山岡亮平氏を偲ぶ」

同窓生の皆様、お元気で過ごしのことと思います。

新校舎の落成記念事業終了後から同窓会会長をお引き受けして早くも、2年半が過ぎました。山岡氏は本年3月13日に逝去（享年75）されるまで同窓会副会長として、本年秋に予定されている創立150周年記念事業（11月15日）、直後の3年ぶりの同窓会総会（11月26日）の準備などに尽力いただきました。鴨沂会館で開催された理事会の前後で、同じ17期生として、在学中を懐かしく思い出しながら談話したことなどが思い出されます。昨年の春先から体調がすぐれず、お会いできる機会も少なくなってきたので心配しておりました。先生は1947年のお生まれで、鴨沂高校卒業後、京都大学大学院農学研究科で農学博士号を取得され、その後京都工芸繊維大学助教授、教授を経て名誉教授とされました。ご専門はアリなどの社会性昆虫のコロニーの認識や習性の化学生態学的研究で、日本応用動物昆虫学会や日本質量分析学会などで活躍されました。謹んで山岡先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

1967（昭和42）年3月卒：19期生

鈴木 正穂

「19期会が結成されて37年！会報「鴨の河原辺」54号」

京都府立第一高女・鴨沂高校創立150周年おめでとうござい  
ます。今も荒神橋から鴨川の清流を眺めると高校時代のこと

を思い出す今日この頃。19期会は、1967（昭和42）年55年前の卒業生です。ジュリーこと沢田研二さんが同学年です。コロナ前までは毎年同期会を開催。37回を数えました。この2年コロナで懇親会は中止になりましたが、会報の「鴨の河原辺」は発刊され続け54号が昨年発行されています。幹事の川本、辻村、野秋、主原さん、ご苦労様です。毎回260部余が発行され、100通以上の近況報告が寄せられています。すでに古希を過ぎ孫の世話や親の介護、体調不良の日々のことや趣味のことが綴られています。すでに何十人も先に旅立ちさみしくなりました。

ところで、ぼくの老母は大正15年生まれ95歳。車いすで食事のままなりません、頭脳明晰。昭和15年かに府立第一高女に入学、戦時下の日々を話していたことがあります。そして、ぼくは、諸先輩後輩に応援されて8期32年京都市議員として勤めました。ありがとうございました。愚息は1977（昭和52）年生まれ鴨沂の卒業生。沖縄で弁護士をしています。鴨沂食堂の前川夫妻にお世話になりました。

親子三代にわたって鴨沂の学び舎で青春を過ごしたのです。鴨沂高校は良き思い出としてそれぞれの心に今もあるのです。19期会は、有志によるハイキングなどを復活し、コロナ禍が終息し総会で同級生と再会できることを願っています！

友よ！生き抜きましょう！

#### 1968（昭和43）年3月卒：20期生

山崎 賢二

「創立150周年の喜び」

3年ぶりの全期同窓会が開催されますが、コロナ禍によって多くのイベントが中止の憂き目に遭う中、ようやく同窓生の皆様と懇談できる機会となります。

73歳を迎える年度の我々にも、思わぬ病気やケガが忍び寄り、平本京龍くん、中村（山木）純子さん、池上陽くん、葛西宗久くんが物故されました。明日は我が身かと思いながらも、全期同窓会や20期同窓会、飲み仲間「呑沂会」などの世話役として酒の機会も多く、ついには朝から連続飲酒のアルコール依存症に陥り、自分では止められない事態となったのです。幸い神経内科専門医のインフォームドコンセントに出会い、早や3年の断酒が続いています。

過日「開校150周年」のご案内がありました。私の人生で、80年ぶりの校舎の建て替えやスタインウェイピアノの修復事業に携われた事を嬉しく思います。久々に開催された対面理事会で、150周年記念事業の実行検討が行われましたが、全期同窓会の立ち位置が不明朗なまま進行する事でもめてしまいました。また、開校から約半分の期間を占める第一高女の元同窓会組織の参画が、公益法人といえども出てこないのに残念な気がします。

8期の方々のご尽力は、建て替え記念事業以来の大きな推進力である事に敬意を表します。

#### 1969（昭和44）年3月卒：21期生

辻 義博

21期卒業生の同窓会は2年に1回開催されています。その同窓会のお世話をさせていただいているのは同窓会幹事会です。各クラス最少2名がメンバーになり、いつでも集まれる場を作っておこうとの意味で年に数回集まり同窓会幹事会を実施してまいりました。そして70歳を迎える年、同幹

事会による最後の同窓会にしようと準備をしておりましたが、コロナ禍により中止せざるを得なくなりました。それ以後同窓会は開催されておられません。

しかし幹事会は今でも毎月開かれております。同窓会の開催、準備の話し合いは当然のことながら、幹事の誕生会、年2回の旅行の打ち合わせ等食事をしながら楽しくやっております。幹事会は同窓生のお店で開かれます。以前より仲間がふらっと立ち寄り、近況を知らせたり仲間の状況を知らせたりしているお店です。同窓会後の2次会、3次会の場所としても利用させてもらっていました。同窓会が終了しても、この店で仲間に出会うことがあるかもしれません。いつも笑顔で迎えて下さいます。我々同窓生には無くてはならない場所です。

#### 1970（昭和45）年3月卒：22期生

野村 芳美

「鴨沂温泉部」

22期同期生の連絡のつく仲間同士で、毎年春と秋に温泉旅行を行っています。奥正一君が日程を決めて大江戸温泉チェーンの中からその時の気分に対応しい宿を予約していただき、みんなに呼びかけられます。奥君いつも大変お世話になりありがとうございます。今年の春は片山津温泉にある大江戸温泉を予約していただき、5月21、22日1泊2日の温泉ツアーに行きました。参加者は男性6名、女性7名の13名でした。今回は珍しくお天気にも恵まれ（参加者の中に強力な雨女がおられるのですが、今回は大丈夫だったようです）、愉快的仲間同士の楽しい旅行となりました。LINEの投稿から参加者のメッセージを拾ってみました。

M.Sさん：久しぶりの旅行が気の置けない鴨沂温泉部でありました。こんなに楽しかったかい、と思いました。いろいろお世話になり有難うございました。

K.Hさん：ホンマ楽しかった。余韻でしばらく楽しい気分です。過ごせるよー。

M.Kさん：皆さん大変お世話になりました。楽しかった。仲間はやっぱりいいな～！。ナビ案内人のキーさん、みきさんありがとう。

楽しかった雰囲気が蘇ってきます。面白そうだと思われた22期の皆さん、LINEで「鴨沂温泉部」を検索してください。5月のところまで遡っていただくと「じいさん！ばあさん北陸路2022」で画像アルバムを見れますよ。そして参加してみようかなと思われた方は、LINEで奥君に連絡ください。お待ちしております。



#### 1971（昭和46）年3月卒：23期生

中田 節

「祝 創立150周年」

鴨沂高校の前身「女紅場及び新英学校」から数えて創立150周年、誠におめでとうございます。同窓会の運営にご尽力いただいております。敬意を表します。

筆者は生まれてこの方、ずっと京都の地に住み続け、子供達も同じ小中学校、そして、三人のうち二人は鴨沂高校の同窓生となりました。

ところで、同窓生の方々のうち、多くは京都を離れて暮らしておられると思いますので、ちょっとした報告です。京都の市バス、荒神口の車内アナウンスが、少し前から「次は荒神口、〇〇医院、鴨沂高校前」とコールするようになりました。70歳から支給される敬老乗車証で市バスに乗りながらそれを聞いて、なぜかいつも、少々くすぐったいような感じをいただきます。

思えばこの数年、コロナ禍で同窓生にも逢う機会を失っていたり、同期の会も出来なかつたりしていたのですが、我が第23期の同窓会も、ようやく今秋、10月15日（土）に開催することが予定されています。実に四年ぶりです。みんな揃って今年度中に古稀を迎えます。

大いに愉しみたいと思っております。

**1973（昭和48）年3月卒：25期生**  
**南 寛**  
**「還暦の次は古希！」**

平成27（2015）年に還暦同窓会を開催した後、平成30（2018）年の新校舎竣工に合わせた見学会を開催せねばと思いつつ、コロナ禍で引き籠っていたら、なんやかやで7年が経ってしまいました。年を取ると月日が経つのが早いと聞いていましたが、ほんと実感しています。還暦の次は古希同窓会となるのでしょうか、古希などまだ先の話かと思っていたら、数えなら来年！ やばい、誰か助けてください。志のある方、minami3@mbox.kyoto-inet.or.jp までご連絡ください。

**1974（昭和49）年3月卒：26期生**  
**天川 明久**  
**「26期の近況について」**

鴨沂高校の前身である新英学校及女紅場の創立150周年、誠におめでとうございます。

26期の同窓会は、還暦に向けて平成19年から25年まで、2年に1度、参加者は低調ながら継続して開催してまいりましたが、私が介護などのため幹事を退いたこともあって開催されず、新たに尊鉢氏をはじめとするメンバーで同窓会の幹事会が発足、令和元年に同窓会が開催されました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、それ以降の同窓会は延期となっています。

東日本大震災以降、未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大や頻繁に発生する地震、海外では侵略戦争の勃発など改めて生命の尊厳、感染症に強い国づくり、誰も置き去りにしない人と人のつながりの大切さを痛感しているところです。

コロナ禍は続いておりますが、明年（2023年）9月9日（土）に26期の同窓会が予定されており、その準備に入っていくと聞いております。新しい友人、古い友人も大切に、つながりを強めゆく同窓会を楽しみにしています。

**1983（昭和58）年3月卒：第35期生**  
**奥村 秀夫**  
**「150周年記念事業」**

鴨沂高校同窓会及び関係の方々にはいつもお世話になって

います。理事になって又会計を仰せつかり、今後も皆様にはご指導よろしく申し上げます。

現在、「京都府立第一高女・鴨沂高校開校150周年記念事業」で実行委員会を立ち上げ、記念式典・祝賀会の開催、並びに記念事業の推進ということで、趣意書にもある様に同窓会員の方々等に募金をお願いしています。

私事ですが、先日近くの神社の氏子会役員会があり参加しました。会合が終わりその内数人の鴨沂同窓会員の方に150周年記念事業のことで声を掛けられました。お一人からは「わしは同期の監事に同窓会発起人に入れられたんや」、もう一人からは「募金しましたよ」。

同じ地区の方々には、いろいろと協力して頂いています。

私の学年では、最近コロナの影響もあり集えておりませんが、2020年1月2日に末川、高山理事のお誘いで、同級生同士の新年会に呼んで頂きました。30数年ぶりに会った（話した）友人もいて、有意義な集いでした。

同窓生の皆様もお忙しいと思いますし、コロナの影響もまだ予断を許しません、150周年記念式典・祝賀会等を通じて皆様の旧交を温め、益々新しい鴨沂高校の発展を祝える様願っています。

**2006（平成18）年3月卒：58期生**  
**末松 めぐみ**

同窓会報第10号から8年ぶりに寄稿させてもらえることとなりました。先輩方、同期、後輩の皆さんお元気にされていますか。

鴨沂のテーマである「自由」を改めて考える事となったコロナ禍、やはり鴨沂で教わった「自由」について考えた。「人の自由を侵害する行為は自由ではなく勝手であり、人を思いやりながら自分を貫く事が自由」であると、一周回って結論が出た。改めて鴨沂生でよかった。メディアではなく自分の頭で考える力を培わせてくれたのは高校時代の3年間でした。

今年は緊急事態宣言やマンボウも回避しワンマンライブを2本、京都大阪でやらせていただいた大きな年になりました。35歳にもなってライブやポイトレ講師として音楽漬けの毎日です。

客席が1日も早く素顔のお客様で溢れて欲しいと思う日々。どうか皆様プロパガンダに左右されず「自由」を「自分の頭で」考える事を鴨沂生としてやめないで欲しい。

ボイストレーニングを通して心理学を語ったり、音楽のYouTubeチャンネルをしています。もしよろしければ「左京めぐみ」で検索して

くださると、是幸い。

鴨沂に限らず私の周りは「自分の頭と心と体で判断する仲間」が沢山います。日々感謝です。



**2018（平成30）年3月卒：第70期**  
**佐藤 友美子**  
**「居酒屋“立ち縁”店主」**

編集委員：鴨沂高校70期卒業で昨年（2021年）12月に居酒屋

屋“立ち縁り”を開店された佐藤友美子さんにお話をお聞きします。まず鴨沂高校に進学しようと思われた理由をお聞かせください。

佐藤さん（以下敬称略）：衣笠中学に通っていたのですが、近くの私立高校に行きたいと思っていました。母親に相談すると公立高校に進学できる学力があるのだから、公立を受験して受からなかったら私立に行けばよいのではと言われてました。進路指導の先生にも相談すると、成績はよかったので鴨沂高校にも十分行けると言われたので鴨沂に進学することに決めました。

編集委員：鴨沂高校での学生生活はいかがでしたか？

佐藤：入学してみると衣笠中出身は私一人で1カ月くらい戸惑ったのですが、その後すぐに親しい友人ができました。彼女が京都文化コースに行く決めていたので、私も彼女と3年まで一緒に勉強できたらいいなと思って京都文化コースに行くことにしました。京都文化コースで学んでみると京都に住んでいるのに京都について何も知らないということが分かり、知らなかったことについて知識を得られることに喜びを感じることができて、とても楽しい高校生活を送ることができました。

編集委員：3年になられて進学先に梅花女子大学を選ばれた理由をお聞かせください。

佐藤：進路については楽な方を選択する傾向があって調理製菓の専門学校に行きたいと母親に言うと、大学には行って欲しいと梅花女子大学食文化学部を薦めてくれたので、そこに行くことにしました。パテシェになろうと思っていたのですが、3年の時に居酒屋さんでアルバイトしてお酒の味を覚えてしまいすっかり辛党になりました。障害者施設でアルバイトもしていたのですが、そこの社長さんが堀川商店街に店舗を持っておられて、そこで居酒屋さんをやってみないかと薦めていただき、居酒屋「立ち縁り」を始めることになりました。最初は大変でしたが、今は常連さんもできて、楽しく営業させてもらっています。20歳以上の同窓生の方々にもぜひ一度覗いてみてください。

編集委員：楽しいお話をお聞かせいただきありがとうございます。



## 2022（令和4）年3月卒：74期卒業生 報告

2022（令和4）年3月卒業 第74期生  
柳岡 広樹 元剣道部主将  
広島大学 総合科学部 在学中

大学生となった今、鴨沂高校を振り返ってみると、私はとても恵まれた環境にいたということを実感しています。京都御苑の隣という京都の伝統を感じられる場所で高校時代を過ごせたことは、人生の中でとても貴重な経験になりました。新校舎は古風な良さを残しつつも、とても新鮮で綺麗な空間のために、いつも快適に過ごしていました。そして何よりも、鴨沂高校ではたくさんの経験をすることができました。クラスで一致団結して取り組んだ文化祭や体育祭はどれも大切な思い出です。また、鴨沂高校ならではの京都文化体験では、能や博物館の見学などの貴重な体験をすることができました。そんな鴨沂高校での経験の中で、特に自分が大きく成長できたと感じるものは部活動です。私は剣道部に所属していましたが、1年生の時に顧問の先生から「人から求められる人になりなさい」という言葉をいただきました。その言葉は以後ずっと心に残っていました。そして、大学生になった今でも、その言葉を大切にしています。鴨沂高校での3年間で、私はたくさんの学びを得ました。私はきっとこの先も母校への感謝を忘れることはないでしょう。鴨沂高校の生徒のみなさん、そして、これから先の鴨沂高校生のみなさんに、素晴らしい思い出がたくさんできることをお祈りしています。

2022（令和4）年3月卒業 第74期生  
井上 舞 元水泳（水球）部主将  
早稲田大学 スポーツ科学部 在学中

鴨沂高校を卒業し、京都を離れて数ヶ月が経ちました。両親が鴨沂高校・水泳部の出身でしたので、早くから私も鴨沂高校に入学し、水球に打ち込むことを決めていました。大学生になって改めて高校3年間はとても充実していたと感じています。私の高校生活は部活動が中心でした。厳しい練習も仲間と支え合い、意見し合いながら乗り越えていた日々は、今でも鮮明です。一つの目標に対して、多くの時間を使い、一生懸命奮闘していたことは、大学でも競技を続ける上で大きな糧となっています。私が高校1年生の終わり頃からコロナウィルスが流行し、生活は一変しました。しかし、鴨沂高校は文化祭・体育祭や研修旅行などを開催、実行していただきました。この状況だからこそ生まれたアイデアや新しい局面への挑戦、そして様々な活動を通して自由な発想力やコミュニケーション力が身につきました。この力は大学でも必要とされており、高校で身につけることができたことは大きいと感じています。私は学校行事の中で体育祭が一番印象に強く残っています。その中でも鴨沂特有の「筋肉祭り」という種目は全校生徒の目の前で競い合うため、他の種目よりも応援が近く感じられ盛り上がりやすいです。クラス代表として挑んでいるため緊張と責任は大きいのですが、やり切った後には生徒全員からの歓声が上がり、忘れることのできない鴨沂ならではの思い出です。このように鴨沂には鴨沂にしかないものがたくさんあります。そして、そんな鴨沂には150年の歴史があります。その歴史を守り、継承しつつも、新たなことに挑戦し、進化し続ける鴨沂高校のこれからの楽しみにしています。

## 画像で見る150年の歴史 (1872~1886)

### 1872(明治5)年5月 女紅場及び新英学校開校

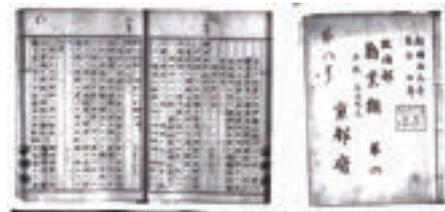
京都市上京区土手町通丸太町下ル駒之町旧九條殿河原邸において始めて業を開く。先ず華氏族の子女78名に英語並びに高等の和洋女紅を授け、名づけて新英学校及び女紅場という。尋いで一般民籍の者の入学を許し、生徒総数159名となる。これ実に本邦女学校の嚆矢なり。



7月 明治天皇臨御  
各教師に謁を賜ひ、親しく生徒の学芸を天覽し給ひ物を賜うことあり。



第2代京都府知事 横村 正直 筆



簿冊名

「京都府史第1編 第32号 政治部学政類1」

件名

「新英学校・女紅場ヲ開設、英語、紅事ヲ教授セシム」

年月日

「明治5年4月12日」

### 1874(明治7)年3月 新英学校を改め「英女学校及び女紅場」と称す。

### 1876(明治9)年5月 英女学校を改めて「女学校及び女紅場」と称す。

2月9日英昭皇太后、昭憲皇太后臨御。親しく生徒の学業をご覧しられ、生徒に褒賞を賜ふ。特に明治天皇より金5百円、英昭皇太后、昭憲皇太后より金貳拾五円を下し給う。



明治天皇

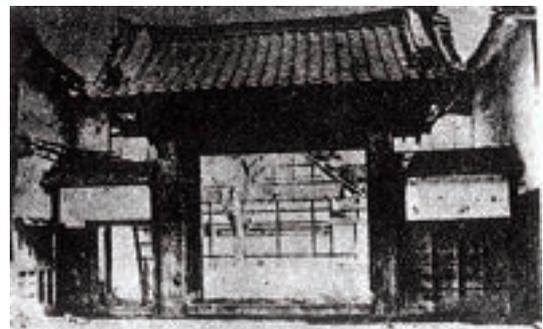


昭憲皇太后



英昭皇太后

明治天皇嫡母(九条尚忠娘)



女紅場及女学校

(九条殿河原邸)

### 1882(明治15)年6月 女紅場の名を廃して単に「女学校」と称す。

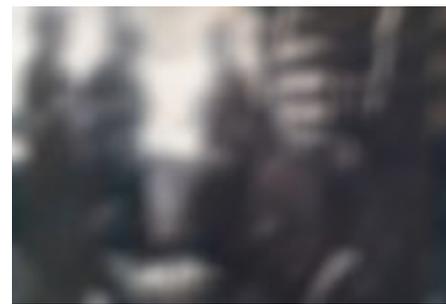
普通学科、師範学科、手芸専修科を置き、その課程を各3ヶ年とし、手芸専修科中に裁縫、刺繍、織機、押絵、剪線、袋物、養蚕の教科を分設し、専ら実用に適せしめむことを図り、大いに学科規正の改正を行い、且つ、師範科に貸費生を置き、就学者の便宜をはかり、傍ら小学諸礼裁縫教師を養成す。



明治天皇行幸所



手芸専修科実習風景(裁縫)



手芸専修科実習風景(養蚕)

## 画像で見る150年の歴史 (1887~1922)

### 1887(明治20)年1月 「高等女学校」と改称す。

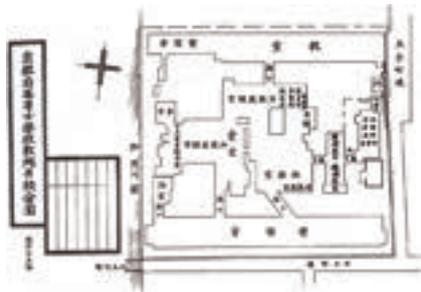
職制を改定し、校長教諭、助教諭及び書記を置く。

2月 昭憲皇太后臨御

生徒の学芸を台覧あらせられ、金 百円を下賜。学校からは生徒製作の綴織御椅子掛1枚を明治天皇に、刺繍御椅子掛1枚を英昭皇太后に、レース御衿飾及御袖飾1組を昭憲皇太后に奉獻す。

7月 京都鳴沂会発足

旧卒業生相謀りて同窓会を組織し、名づけて「京都鳴沂会」という。当時の会員155名、客員13名。



高等女学校敷地並校舎略図



着物姿の女学校生徒



学童の洋服着用増加(鹿鳴館時代)

### 1901(明治34)年3月 上京区寺町荒神口下ル松蔭町への新築校舎へ移転完了。



荒神口下ル新校舎全景



校門(旧校舎より移転)



和室・茶室(旧校舎より移転)

### 1904(明治37)年1月 「府立第一高等女学校」と改称す。

1909(明治42)年4月 賀陽宮由紀子女王殿下本科に御入学。

1912(大正元)年9月 明治天皇御大葬につき、河原校長東上、御式場に参列す。

1914(大正3)年3月 賀陽宮由紀子女王殿下本科御卒業。

1915(大正4)年4月 賀陽宮左紀子女王殿下本科に御入学。

5月 大正天皇御即位礼奉式を挙行し、賀表を奉呈す。

1919(大正8)年4月 久邇宮智子女王殿下本科に御入学。



明治天皇御大葬行列



大正天皇

貞明皇后(九条節子)



大正天皇御即位行列

## 画像で見る150年の歴史（1923～1947）

1923(大正12)年 4月 「京都府立京都第一高等女学校」と改称す。

5月 久邇宮邦彦王殿下、同妃殿下、同良子女王殿下、同信子女王殿下お揃いにて御成、生徒の学業を台覧。

1924(大正13)年 1月 皇太子殿下御成婚祝賀式挙行。

3月 久邇宮智子女王殿下本科御卒業。同多嘉王妃殿下台臨。

1926(大正15)年 5月 徒歩遠足奨励のため、生徒各自の体力を顧慮したる「適応遠足」を創め、毎学期1回これを実施することとす。

7月 生徒の心身鍛錬のため、その本質と趣味に応じ、これより夏季休暇中の行事として、伊吹山登山、白馬登山、臨海生活を計画実施することとす。



適応遠足



白馬登山



浜詰臨海学舎



臨海学習

1930(昭和5)年 4月 久邇宮恭仁子女王殿下本科に御入学。

1936(昭和11)年 5月 新校舎竣工式挙行、400名の来賓を迎え盛大を極む。

1937(昭和12)年 3月 久邇宮恭仁子女王殿下高等科をご卒業

4月 ヘレンケラー女史歓迎講演会。1500余名聴講。



新校舎正面



ヘレンケラー女史歓迎講演会



久邇宮恭仁子女王殿下

1940(昭和15)年 府総動員課主催、節米講習会開催。薙刀寒稽古実施。

1941(昭和16)年 久津川道場開墾。女子救護法講習会。



薙刀寒稽古



久津川道場



女子救護法講習会

## 画像で見る150年の歴史（1948～1976）

- 1948(昭和23)年4月 学制改革「高校三原則(地域制・男女共学制・総合制)」により新制鴨沂高等学校発足。  
 1949(昭和24)年2月 「鴨沂新聞」創刊号発行。  
 3月 鴨沂高等学校同窓会結成(初代同窓会理事長・秋田宗平氏)  
 1950(昭和25)年3月 京都大学に75名合格。  
 4月 山本富士子様(鴨沂高校第2期卒業生)、ミス日本第1号に。



旧校舎校門



鴨沂新聞創刊号



山本富士子様

画像提供：松坂屋50年史編集委員会  
パブリックドメイン、ウイキメディア経由

- 1955(昭和30)年8月 水球部・卓球部・硬式庭球部・軟式庭球部全国大会に出場。  
 1960(昭和35)年6月 鴨沂高校生約500名、安保反対デモ。  
 1960(昭和35)年10月 学校祭「揚げば尊し」の山車が始めて市内パレードを行う。



鴨沂新聞 昭和30年



河原町通りをデモ行進する鴨沂生



揚げば尊し

- 1964(昭和39)年1月 高校ラグビー全国大会出場(花園陸上競技場。2回戦、慶応高に惜敗。) 12月 校外運動場として紫野グラウンド使用開始。  
 1976(昭和51年)6月 「3年生には演劇コンクールは必要ない」という生徒部の方針に異議を唱え、全校集会で実施を決定。



ラグビー部(全国大会出場時)



紫野グラウンド



演劇コンクール

## 画像で見る150年の歴史 (1977~2018)

- 1978(昭和53)年10月 鴨沂高校創立30周年創立記念日。  
1999(平成11)年1月 1学年沖縄研修旅行。「平和アピール」発表。  
2013(平成25)年4月 1年生より制服導入。



憩いの場ウィーンの森



沖縄研修旅行



制服

- 2014(平成26)年4月 「鴨沂のまなび」と称する京都文化に関わる教育活動が開始。  
9月 校舎改築のため京都産業大学附属高校跡地(上京区相国寺門前町)へ移転。  
9月 旧校舎解体工事着工。



京都文化入門(1年)・着付け体験



相国寺門前町へ移転



解体工事

- 2016(平成28)年8月 京都文化演習(2年)のプログラムとして鴨沂同窓会関東支部同窓生による講演会、交流会を開催。  
2018(平成30)年2月 自転車安全利用取組優良モデル校に認定。  
7月 前川食堂、営業終了。



同窓会関東支部講演会



交通安全あいさつ運動



前川夫妻

画像提供：鴨沂高校 HP  
鴨沂高校旧教職員の会

## 画像で見る150年の歴史 (2018~2019)

2018(平成30)年8月 新校舎完成。

10月 同窓会より寄贈された上村画伯原画の緞帳を講堂に取り付け完了。



2018(平成30)年10月 新校舎落成記念式典・講演会・施設見学会開催。



式典・講演会・見学会看板

4階講堂にて式典開催

記念講演会 荻阪直行氏(17期)

10月 ウェスティン都ホテルにて新校舎落成記念祝賀会開催。



松下会長(8期)挨拶・司会岩崎裕美さん(22期)

京小町踊り子隊

西川リクオ氏(35期)

2019(令和元)年10月 第9回同窓会総会開催。

2019(令和元)年11月 スタインウェイピアノコンサート開催。

鴨沂高校、PTA、同窓会の3者で「鴨沂高等学校教育振興基金事業会」を設立し募金活動を行い、スタインウェイピアノC型を修復し、高校に寄贈された。



第9回同窓会総会



松下代表から藤井校長へ  
寄贈品の目録贈呈



スタインウェイピアノ  
奏者 竹田理琴乃さん

# 事務局だより

## 「府立第一高女・鴨沂高校創立150周年記念事業」について

令和3年3月の常任理事会において鴨沂高校、PTA および同窓会の三者による「京都府立第一高女・鴨沂高校150周年記念事業会」設立の提案がありました。その後、8期同窓生を中心として「京都府立第一高女・鴨沂高等学校開校150周年記念事業実行委員会」が設立されました。実行委員会は記念式典・祝賀会、150周年記念冊子の刊行、教育環境整備事業等を記念事業として計画し、令和4年5月に同窓会会員に向けて趣意書を発送し、募金活動を開始しました。この間、同窓生からの学年報告にもありますように、新型コロナ再流行の影響もあり、皆様へのお知らせには行き届かないことも多々ありました。皆様からの十分なお理解をえるまでに至っていない点もあるとは思いますがお許しください。本会報の「画像で見る150年の歴史」をご覧いただけましたら、改めて鴨沂の150年の歴史の重みを感じていただけるのではないのでしょうか。そのように感じていただいた同窓生の皆さまには同窓会としても再度ご協力をお願いする次第です。できましたら、下記の口座にてご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都銀行 府庁前支店 (支店コード122)  
 普通預金口座番号 4304779  
 口座名義 京都府立第一高女・鴨沂高校開校150周年記念事業会  
 会計 福田智子 (ふくださとこ)  
 (募金1口2,000円より)

## 京都府立鴨沂高等学校同窓会 理事等役員名簿

2022 (令和4) 年10月1日現在

期	氏名	期	氏名
1期	木村 要	22期	井上 義信(常任理事)
3期	仲谷 喬	22期	安田 行秀(事務局)
5期	小林 哲夫	23期	小川 達雄
8期	松下 勇	23期	前田 次世(理事長)
8期	高石 秀雄	24期	藤井 義昭
10期	西尾 齊	25期	橋本 伸生
11期	戸川 隆博(監事)	25期	南 寛(会計)
12期	高崎 肇	26期	天川 明久
12期	田畑 磐臣	29期	岡田 憲和
13期	川島 康之	30期	一井 智之
14期	木村 正	31期	石井 崇夫
14期	山本 早苗	34期	福田 智子(事務局長)
15期	谷口明日香	34期	大西 伸一
15期	河合 孝俊	35期	奥村 秀夫(会計)
16期	佐川 公也	35期	柿阪 宜孝
16期	高井 一弘	35期	末川 協(常任理事)
17期	苧阪 直行(会長)	35期	高山 康彦(事務局)
19期	青木 栄子	39期	宮下 貴行
19期	鈴木 正穂	48期	森木 吉人
20期	山崎 賢二	54期	堤中 恵
21期	佐々木佳継	62期	石野 尚志
21期	辻 義博	21期	川井 秀一(特別顧問)
21期	廣瀬ちづる(監事)	校長	松井佳代美(顧問)

## 京都府立鴨沂高校同窓会 会計報告

京都府立鴨沂高等学校同窓会収支決算 (2019. 4. 1~2022. 3. 31 3ヶ年)

単位: 円

会計区分	収支	勘定科目	71期 (2019. 4. 1~)		72期 (2020. 4. 1~)		73期 (2021. 4. 1~)		備考	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算		
一般会計	収入	前期繰越金	6,330,949	6,330,949	7,440,949	6,881,428	6,360,949	6,027,598		
		年会費収入	3,700,000	3,089,100	100,000	82,000	50,000	6,000		
		入会金収入	480,000	480,000	480,000	478,000	480,000	480,000		
		總會収入	1,000,000	770,000	0	0	0	0		
		名簿その他収入	2,000	0	2,000	115,098	2,000	0		
		受取利息	0	0	0	0	0	0		
		特別から繰り合	0	0	0	0	0	0		
		合計	11,512,949	10,670,049	8,022,949	7,556,526	6,892,949	6,513,598		
		支出	總會費	1,000,000	778,000	0	0	0	0	
			会報製作・発送費	1,200,000	1,303,568	0	0	0	0	
			交通費	60,000	24,320	30,000	20,800	30,000	0	
			使用料	170,000	161,130	170,000	139,040	170,000	364,900	
			通信費	100,000	94,459	100,000	192,976	100,000	60,223	
事務用品費	200,000		192,033	200,000	185,285	200,000	24,867			
備品費	0		0	0	0	0	0			
慶弔交際費	50,000		10,000	50,000	10,000	50,000	10,000			
卒業記念品	170,000		166,089	170,000	147,609	170,000	146,960			
雑費	10,000		125,422	10,000	32,218	10,000	17,613			
奨学金	432,000		432,000	432,000	432,000	432,000	432,000			
支部活動助成金	180,000		0	0	0	0	0			
活動維持費	400,000		501,600	400,000	369,000	400,000	364,000			
予備費	100,000	0	100,000	0	100,000	0				
特別へ繰り出	0	0	0	0	0	0				
次期繰越金	7,440,949	6,881,428	6,360,949	6,027,598	5,230,949	5,093,035				
合計	11,512,949	10,670,049	8,022,949	7,556,526	6,892,949	6,513,598				
次期繰越金内訳	現金	—	0	—	0	—	0			
	通常貯金	—	320,050	—	2,954,736	—	2,087,568			
	振替口座	—	3,561,378	—	72,862	—	5,467			
	定期貯金	—	3,000,000	—	3,000,000	—	3,000,000			
合計	7,440,949	6,881,428	6,360,949	6,027,598	5,230,949	5,093,035				

# 京都府立鴨沂高等学校同窓会 会則

## 第1条 (名 称)

本会は、京都府立鴨沂高等学校同窓会と称する。

## 第2条 (本 部)

本会は、本部を京都市上京区荒神町の鴨沂会館内に置く。

## 第3条 (目 的)

本会は、会員相互の親睦をはかり、母校の教育への後援を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

## 第4条 (事 業)

本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦をはかること。
- (2) 母校の教育環境の充実に関すること。
- (3) 生徒の福祉と健康の増進に関すること。
- (4) その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

## 第5条 (会 員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 母校卒業生、および母校に在学している、または、在籍したことのある者。
- (2) 特別会員 現、旧職員。

## 第6条 (総 会)

本会は、3年ごとに会長の招集により定時総会を開くほか、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2. 総会では、事業の経過および計画、会計収支決算および予算、会則の改廃ならびに役員人事の報告を行う。
3. 総会の議長は、会長または理事会が指名した理事がつとめる。
4. 総会において議決を行う場合は、出席者の過半数により決定する。

## 第7条 (年 度)

本会の事業および会計年度は、4月1日から翌年の3月末日までとし、監事による会計監査を経て、総会において会計収支報告を行う。

## 第8条 (役員および会務)

本会は、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名 理事の決議により正会員の中から選出する。  
会長は、会務を統括し、本会を代表する。
- (2) 副会長 若干名 理事の中から会長が委嘱する。副会長は会長を補佐し、会長に事故がある時は、これを代行する。
- (3) 理事長 1名 理事の互選により選出する。理事長は、会務の執行を推進する。
- (4) 会 計 2名 理事の中から推薦により会長が委嘱する。  
会計は、本会の経理を担当する。
- (5) 理 事 20名以上50名以内 正会員の中から推薦により会長が委嘱する。理事は、理事会を構成し、事業の推進をはかり、目的の達成に協力する。
- (6) 監 事 2名以上3名以内 理事の決議により正会員の中から選出し、会長が委嘱する。監事は、本会の会計を監査する。会計監査は、中間と期末に行う。
- (7) 顧 問 1名 母校の現校長に委嘱する。

## 第9条 (任 期)

役員任期は3年とし、再選を妨げない。ただし、次の役員が選任されるまでは、その会務にあたる。

## 第10条 (理事会)

本会は、適時に理事会を開催し、次の事項を議決する。

- (1) 事業の経過および計画
- (2) 会計収支決算および予算
- (3) 総会の開催
- (4) 役員承認
- (5) 会則の改廃
- (6) その他、必要な事項
2. 理事会の議長は、理事長または理事会が指名した理事がつとめる。

理事会の招集は、会日の2週間前までに、議事の主旨を示して会長または理事長により行う。ただし、監事が必要と認められた時、または理事の二分の一以上の要求がある時は、その代表ができる。

3. 理事会の議決は、監事を除く議決権総数の過半数により決定する。
4. 理事会は、本会の活動情報を広報するとともに会員の意見集約につとめる。
5. 会長または理事長は、会務に関して専門的な問題を処理するために、若干名の理事による専門委員会を設置することができる。

## 第11条 (常任理事会)

理事長は、理事の中から若干名の「常任理事」を指名して常任理事会を招集し、会務に関しての協議および執行にあたらせることができる。

## 第12条 (会費等)

本会の運営に必要な費用は、入会金、会費、寄付金および雑収入をもってこれにあてる。

2. 入会金は金2,000円とし、入学時に納入する。
3. 正会員は、年会費として、金2,000円を納入するものとする。ただし、在学中は、これを免除する。

## 第13条 (経 費)

本会の役員は、その業務執行につき必要な費用を、活動費として受け取ることができる。

## 第14条 (資金の管理と運用)

理事長は、本会の資金管理に関しては会員全員の共有資産であることに鑑み、その残高の確認には、特段の留意をしなければならない。

2. 理事長ならびに会計は、本会の資産運用に関しては元本が保証された安全かつ有利なものを選択するように留意しなければならない。

## 第15条 (議事録)

総会、理事会の議長は、議事の経過の要領と結果を記載した議事録を作成し、署名押印して理事全員に開示し、関係資料と共に本部に保管する。

## 第16条 (細 則)

本会則の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

## 第17条 (支 部)

本会は、理事会の承認により、支部を設置することができる。

2. 支部は、責任者を定めて、支部会員を掌握しなければならない。
3. 支部の維持や運営に対する助成は、理事会の承認を経て行うことができる。

## 第18条 (変更届)

会員は、住所や姓名などに異動があったときは、そのつど本会に報告するものとする。

## 第19条 (個人情報)

理事は、会員の情報を「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い、慎重に取り扱わなければならない。

## 第20条 (会則外事項)

この会則に定めのない事項については、他の同窓会慣習や法令の定めるところによる。

## 付 則

1. 本会則は、昭和25年5月21日より施行する。
2. 昭和33年10月11日 一部改正
3. 平成8年11月18日 一部改正
4. 平成11年11月14日 一部改正
5. 平成20年10月8日 一部改正
6. 平成23年9月16日 一部改正
7. 平成26年7月5日 一部改正
8. 平成29年1月28日 一部改正

# 京都府立鴨沂高等学校同窓会 第10回総会開催のご案内

日時：2022（令和4）年11月26日（土） 14時00分～ 受付

会場：京都府立鴨沂高等学校 3階講堂

14：00 受付

14：30 総会

15：30 終了予定

懇親会：ホテル平安の森京都

17：30 開始

20：00 終了予定

会費：8,000円

※当日お支払い下さい。

## 京都府立第一高女・鴨沂高校開校150周年記念事業について

### ◆ 記念式典

□日時 令和4年11月15日（火） 午後2時開式

□場所 ロームシアター京都 メインホール

□次第（受付：午後1時～）

- ・開会の辞 実行委員長
- ・来賓祝辞 京都府知事、  
京都府教育委員会教育長
- ・校長挨拶 校長
- ・生徒会長挨拶 生徒会長
- ・生徒発表 京都文化コース代表生徒
- ・次世代へのメッセージ 発起人代表 塚本 能交氏  
(ワコールホールディングス会長)
- ・記念講演 実行委員会代表 猪熊 兼勝氏  
(考古学者 [奈良文化財研究所研究員])
- ・校歌演奏(映像) 吹奏楽部、合唱部

### ◆ 祝賀会

□日時 令和4年11月15日（火）  
午後6時30分開会(受付：午後6時～)

□場所 ウェスティン都ホテル京都

□会費 12,000円

- \*事前にご入金いただきます。
- \*手数料はご負担ください。

### ◆ 記念事業

- 150周年記念行事の開催
  - ・記念式典
  - ・祝賀会
- 150周年記念誌の刊行  
8期 猪熊 兼勝 著
- 記念碑等の作成
- 教育環境整備事業

※募金（1口2,000円より）を受け付けています。御協力をお願い申し上げます。

◆ゆうちょ銀行振替口座 00950-4-276449

口座名義 第一高女・鴨沂高校開校150周年記念事業